

2026年5月25日
川崎重工業株式会社
東京センチュリー株式会社
京セラコミュニケーションシステム株式会社

川崎重工西神工場において「ソーラーカーポート」を活用した 寄付型コーポレート PPA の第 2 期提供開始について

～初の駐車場設置型太陽光発電により再エネ導入を加速、SDGs 達成に向けた寄付も実施～

川崎重工業株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長執行役員：橋本 康彦、以下「川崎重工」）と、東京センチュリー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：藤原 弘治、以下「東京センチュリー」）、京セラコミュニケーションシステム株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役社長：河之口 達也、以下「KCCS」）は、川崎重工の西神工場において「ソーラーカーポート（駐車場設置型太陽光発電設備）」を活用した「寄付型コーポレート PPA（自家発電サポートサービス）」（以下「本サービス」）の第 2 期提供を開始しました。ソーラーカーポートを用いた本サービスの導入は、川崎重工として初の取り組みとなります。

川崎重工は、カーボンニュートラルに向けた取り組みとして、再生可能エネルギーの導入を加速させています。本件は、同社の西神工場の駐車場の屋根を有効活用し、ソーラーカーポートとして新たに 1,049.535kW の太陽光発電パネルを設置するものです。これにより、再生可能エネルギー導入を推進するだけでなく、遮熱・遮光効果による車内温度の上昇抑制や、雨天時の利便性向上など、駐車場を利用する従業員の快適性向上にも寄与します。事業用地を有効活用した再生可能エネルギー導入の先進的なモデルケースとして展開します。

なお、西神工場における本サービスの導入は、2023 年 3 月の屋根置き（第 1 期）に続く 2 件目となります。川崎重工全体での寄付型コーポレート PPA の取り組みとしては計 4 件^{※1}となり、合計約 3.0MW の太陽光由来の電力を活用することになります。

本サービスでは、太陽光発電設備の導入に必要な初期投資などのコストや手続きを東京センチュリーと KCCS の 2 社が引き受けることにより、「初期投資ゼロ」で太陽光発電システムを導入できます。40 年以上にわたり高い出力で稼働し長期信頼性が実証^{※2}された京セラ株式会社製太陽光発電システムを使用することに加え、O&M（運営・保守）は豊富な実績を有する KCCS が担います。

また、SDGs を推進する公益法人や NPO 法人への寄付を組み込んでおり、寄付先をお客さまが自由に選定できることや、寄付金相当額は東京センチュリーが負担することで、SDGs を支援するお客さまにとって、多くのメリットがあります。本件は、川崎重工における過去 3 件の取り組みと同様に、兵庫県内において地球温暖化防止や生物多様性の維持・向上を目指し、森づくりを行っている NPO 法人ひょうご森の倶楽部^{※3}に、東京センチュリーから寄付を実施いたします。

今後とも、再生可能エネルギーのさらなる利活用や SDGs 達成に向けた活動を行う団体への寄付などにより、エネルギーの脱炭素だけでなく、より主体的な環境保護の取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※1

・2023年3月23日付リリース：

<https://www.tokyoCentury.co.jp/jp/newsroom/news/pdf/94c42243130144639881ad40423bad786e00a088.pdf>

・2023年10月27日付リリース：

<https://www.tokyoCentury.co.jp/jp/newsroom/news/pdf/590fdaf87606c46bd131eb5c221a2cceb0d618e5.pdf>

・2025年12月19日付リリース：

<https://www.tokyoCentury.co.jp/jp/newsroom/news/pdf/81614b061e65a9982b3b2b8e0362978a606fc262.pdf>

※2 京セラは、1984年に「佐倉ソーラーエネルギーセンター」（千葉県・佐倉市）を設立しました。同センターに設置された多結晶シリコン型のソーラー発電システムは現在も稼働し続けており、40年経過後の出力低下率はわずか20.8%でした。この値は実績データをベースに、出力特性の測定精度・ばらつきなど、外的要因も考慮した数値です。京セラ調べ。

(<https://www.kyocera.co.jp/solar/products/module/>)

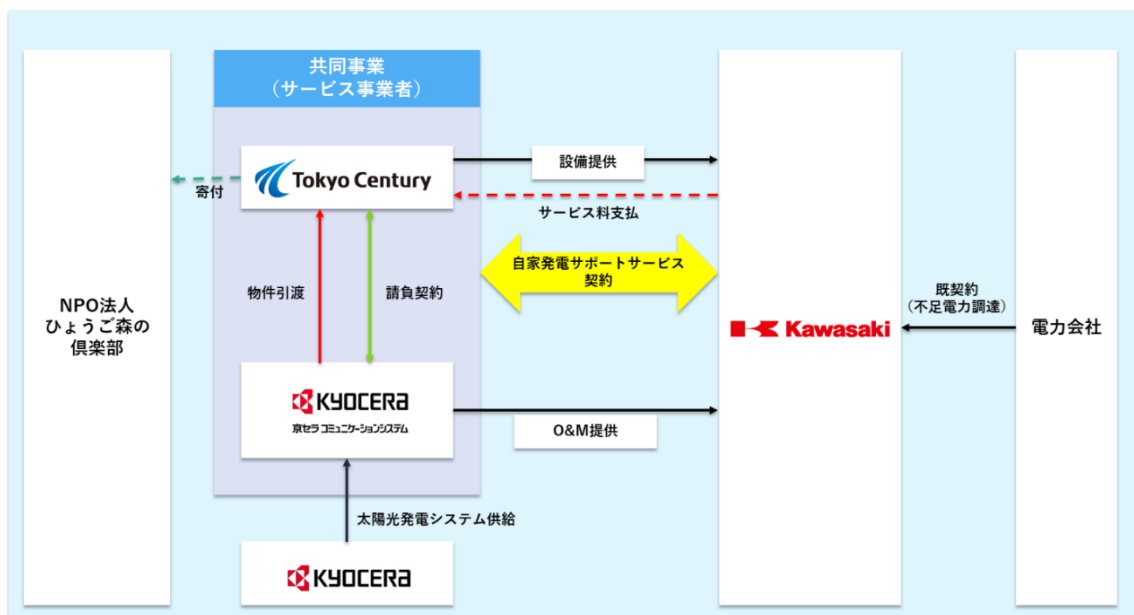
※3 1996年に設立、会員約300名が兵庫県内18カ所の森を守り、育てているボランティア活動団体です。放置され、過密になった樹林を間伐し、適度な光と風を入れて森を元気にするなどの森林ボランティア活動のほか、森とのふれあい活動、森で活動する仲間づくり（他団体等との協働・支援）を行っています。

(<https://hyogo-morinoclub.jp/about-volunteer/>)

■ 本事業の概要

事業場所	川崎重工業 西神工場（神戸市西区高塚台2丁目8番1号）
設備概要	太陽光発電システム
想定年間発電量	1,220,025kWh
発電予定期間	2026年5月～2046年4月（20年間）
発電設備	1,049.535kW

■ 寄付型のコーポレートPPA（自家発電サポートサービス）



■西神工場（兵庫県神戸市西区）



写真手前から広がる駐車場全域のカーポートが今回導入された設備（工場屋根上の太陽光パネルは既存設備）。

■各社概要

1.川崎重工業の概要

商号	川崎重工業株式会社
本社所在地	神戸市中央区東川崎町 1 丁目 1 番 3 号
代表者	代表取締役社長執行役員 橋本 康彦
事業内容	航空宇宙システム事業、車両事業、エネルギーソリューション&マリン事業、精密機械・ロボット事業、パワースポーツ&エンジン事業及びその他事業
大株主及び持ち株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 13.57%、 株式会社日本カストディ銀行（信託口） 8.00%、 日本生命保険相互会社 3.42%

2.東京センチュリーの概要

商号	東京センチュリー株式会社
本社所在地	東京都千代田区神田練堀町 3
代表者	代表取締役社長 CEO 藤原 弘治
事業内容	国内ビジネス、海外ビジネス、社会インフラ、トランスポート、モビリティ、企業投資
大株主及び持ち株比率	伊藤忠商事株式会社 30%、中央日本土地建物株式会社 14%、 NTT 株式会社 10%

3.KCCS の概要

商号	京セラコミュニケーションシステム株式会社
本社所在地	京都府京都市伏見区竹田烏羽殿町 6
代表者	代表取締役社長 河之口 達也
事業内容	ICT 事業、エンジニアリング事業（通信・環境）
大株主及び持ち株比率	京セラ株式会社 76.6%、KDDI 株式会社 23.4%

以 上